お詫びと訂正

『全商簿記実務検定対策問題集 合格ガイド１級会計』（14 訂版）に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに，下記のように訂正してご使用いただきますよう，お願い申し上げます。

該当箇所	誤	正
p. 77 4. 自社利用目的のソフトウェア	自社利用目的のソフトウェアについて，その利用によって将来の収益獲得または費用削減が確実であると認められる場合には，その製作費や取得原価などを**ソフトウェア勘定**（無形固定資産）で処理する。なお，製作途中のソフトウェアについては，**ソフトウェア仮勘定**で処理する。	自社利用目的のソフトウェアについて，その利用によって将来の収益獲得または費用削減が確実であると認められる場合には，その制作費や取得原価などを**ソフトウェア勘定**（無形固定資産）で処理する。なお，制作途中のソフトウェアについては，**ソフトウェア仮勘定**で処理する。
p. 115 基本問題 12(1)・13(1)(2) p. 124 応用問題 3(1) p. 127 検定問題 2(1)	権利行使価額	権利行使価格
p. 190 検定問題 1 付記事項①	①　リース債務￥*300,000* は令和○8 年 3 月 31 日までリース契約をしているコピー機に対するものであり，決済日の翌日から 1 年以内の部分は流動負債として表示する。	①　リース債務￥*300,000* は令和○8 年 3 月 31 日までリース契約をしているコピー機に対するものであり，決算日の翌日から 1 年以内の部分は流動負債として表示する。